

8階南病棟 既卒者用育成プログラム（一般病棟経験者）

※経験年数や採用月数により時期の変動があります

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	受け持ち業務の自立（4人夜勤が実施できる）	他病棟との連携を理解する	受け持ちが自立（夜勤業務の自立）	術後患者の受け入れがサポート付きで行える	夜勤業務、日勤業務が自立できる				NPPVの受持ちを開始	医師への患者状態の報告が行え、指示が受けられる。またリーダーへの報告が行える		・業務全般の自立と重症部屋受け持ち自立 ・人工呼吸器装着の患者管理の実施
実施内容	・外回り業務が出来る（物品・薬品・OPE後ベッド作り） ・病棟の環境に慣れ、フォロー付きで軽症患者部屋の受け持ちができる（初旬：1人から3人→リーダーフォローのもと1部屋6名） ・パス患者の受け落ち自立 ・入院業務の理解（入院に必要な書類の管理、電子カルテ入力が完了できる） ・術前患者への入院説明、オリエンテーションが自立する ・検査の種類の理解と搬送と受け入れができる ・CAG・PCI後の患者受け入れができる	・夜勤業務5人実施（月の後半1回～2回） ・転入と転出の準備と業務が行える ・アブレーション後の患者受け入れができる	・カテ受け持ち患者の独り立ちができる ・緊急患者の受け入れがわかる	・手術出し、CCUから患者受け入れがフォロー付きで行え、自立する ・フォロー付きで重症部屋（804・805・823・824）の受け持ち実施		委員会の選定と活動への参加	開心術術後患者、TAVI術後患者の術後管理が自立できる					
研修	基本的にラダーⅡから開始（経験年数によってはラダーの開始を検討する）									心電図学習会、ナースングスキルの視聴は必須とする項目は指導者と健闘して課題とするラダーレベルから選択する		
自己学習	循環器疾患の基礎の理解と治療の理解（CAG・PCI）の確認	TAVI、心外手術、術式の違いについて理解できている	緊急時の対応、急変時の対応の理解	術後呼吸器合併症についての理解（胸部レントゲンの見方、血液ガスデータからの判断）	・NPPVの原理と操作の理解 ・看護の注意点と観察ポイントの理解							
心臓病センター勉強会		・虚血性心疾患と心カテについて ・CABGについて		・救急対応 ・僧帽弁手術について			救急対応シミュレーション演習①	術後看護について		救急対応シミュレーション演習②		
振り返り	（1ヵ月） 科長面談・主任面談	リーダー会での情報共有		（3ヶ月）		（6ヶ月） 科長面談中間期評価	主任面談・リーダー会			（10ヶ月） リーダー会次年度評価多安藤役割決定		（12ヶ月） 科長面談下半期評価